

# 泉丘SSHだより



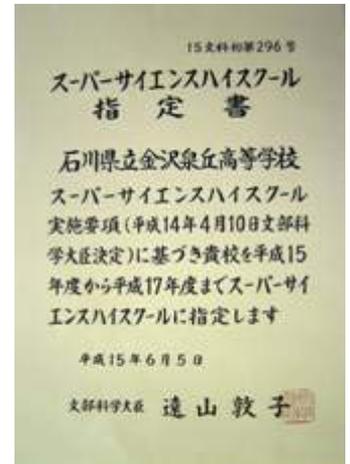
石川県立金沢泉丘高等学校

第1号 H15.9.16  
編集：SSH推進室  
発行責任者：新村健了



## これまでの動き

- 4月7日 文部科学省よりSSHの指定を受ける  
これにより実施計画書等を作成し提出する
- 5月21日 SSH用教育課程表による授業開始  
学校設定科目「人間科学」の授業が始まる
- 6月5日 SSH指定書を交付される
- 6月下旬 JSTへ事業計画書及び事業経費説明書を送付する
- 7月4日 JSTと仮契約  
以後JSTへ事業に係る書類を作成し順次送付する
- 7月30日 SSH第1号の事業として白山野外実習を実施  
～31日 本校教諭6名の他に、今年は生物や地学の専門家の講師の方や大学院生にも参加してもらい実施しました。雨の中の出発となりましたが、南竜に到着後はお天気も回復し、植物観察、星空観察など野外での学習に取り組みました。



- 8月6日 第1回石川県SSH運営指導委員会を本校において開催。運営委員の方々から貴重なご意見をいただきました。
  - A氏 泉丘を卒業して、目に見えるのは何か。3年間の結果を数値化することができるのかプレゼンテーション能力はパネル1枚でわかるようなまとめ方をさせることが必要
  - B氏 高校3年間で糧・転機であったと言ってもらえるように研究を進めていって欲しい
  - C氏 国際社会に通用する人材(教員)が自分を超越する人材をつくる疑問を持たせるため先生とのディスカッションを行い、能動的な人材を育てていって欲しい
- 8月下旬 JSTへ事業計画書及び事業経費説明書を再度送付する

# これからの動き

## JSTと本契約

本契約に向けて、再度事業計画書及び事業経費説明書等の見直しを行い8月末に送付しました。現在はJSTからの連絡待ちです

学校設定科目「コスモサイエンス」の授業開始(月曜日6・7限目)

後期から「コスモサイエンス」の授業が始まります。この授業は最先端科学を体験学習し、科学に対する興味・関心を高めることを目的に、外部講師を招聘したり、大学等へ出向き講義を受けてきます。

授業計画は下記のとおりです。(場所は予定ですので変更になることもあります)

月日(曜)	演 題 及 び 講 師 名	場 所
10/20(月)	科学技術の発展「中世イタリアの科学史」 田中一郎(金沢大学教授)	化学1講義室
10/27(月)	「H ロケットの開発」 田中辰夫(宇宙開発事業団)	化学1講義室
11/10(月)	「スターリングエンジンの製作(実習)」 谷 正史(金沢工業大学教授)	金沢工業大学
11/15(土)	「日本の宇宙開発」 寺門邦次(日本宇宙フォーラム常務理事)	化学1講義室
12/ 1(月)	「環境放射線の観察(実験)」 戸田一郎(北陸電力科学館サイエンスプロデューサー)	化学1講義室
12/15(月)	「根上隕石からわかること」 小村和久(金沢大学教授)	化学1講義室
1/19(月)	「直角三角形と素数」 横川光司(お茶の水女子大助教授)	化学1講義室
1/26(月)	「ナノテクノロジーの世界」 高村 弾(北陸先端科学技術大学院大学助教授)	北陸先端大
2/ 2(月)	「工学の最前線」 森 茂(金沢大学教授)	金沢大学工学部
2/ 9(月)	「遺伝子組み替え実験」 西岡 登(石川県教育センター指導主事)	生物実験室
2/16(月)	「DNA鑑定の最前線」 水野なつ子(石川県警科学捜査研究所所長)	化学1講義室
2/23(月)	「医療をめざす君達へ」 村本信吾(能登総合病院長)	化学1講義室
3/ 8(月)	「医学の現状と将来」 金沢大学医学部教授 「薬学の現状と将来」 金沢大学薬学部教授	金沢大学医学部 薬学部
3/15(月)	体験発表会	大講義室

学校設定科目「人間科学」における講演会の開催

11月26日(水) 14:00 ~ 15:50

「脳の働きのすばらしさ」 金大医学部教授 小川 智氏

12月17日(水) 14:00 ~ 15:50

「免疫の働きのすばらしさ」 講師は現在交渉中

場所は教室又は生物講義室を予定しています

### 特別講演会の開催

10月15日(水) 110周年記念講演と兼ねて行います  
講師 岩手県立大学 学長 西澤潤一氏  
演題 未見の我を発見する  
場所 啓泉講堂

### 研究授業の開催

11月15日(土) 午前 公開授業「人間科学」「コスモサイエンス」  
午後 課題研究発表会  
当日は11月10日(月)との振り替えで授業を行います。

### つくばサイエンスツアーの実施

11月26日(水)～29日(土)に実施する予定で、JSTへ経費等の要求書を提出しました。詳細は下記のとおりですが、まだJSTから確認の連絡がないため日程等が変更になることもあります。

第1日 11月26日(水)

8:22 金沢発 10:32 越後湯沢 12:28 東京着  
14:30 東京電力株式会社 技術開発センター

第2日 11月27日(木)

9:00 2班に分かれ  
東京工業大学大学院工学研究科(竹添秀男教授)  
東京大学大学院工学系研究科(加藤隆史教授)

15:00 「高エネルギー加速器研究機構」

第3日 11月28日(金)

Aグループ 9:30 筑波宇宙センター

13:30 1班「国土交通省気象庁気象研究所」  
2班「物質・材料研究機構」  
3班「農業技術研究機構作物研究所」  
4班「産業技術総合研究所つくばセンター」

Bグループ 9:30 「農業技術研究機構動物衛生研究所」

第4日 11月29日(土)

10:00 「日本科学未来館」  
15:20 東京発 16:36 越後湯沢 19:38 金沢着

### JSTへ要求した物品等の納入

第1号として「環境ホルモン判定キット」と「SSH消耗品(CD-R等)」が8月下旬に納品されました。続いて、図書が9月9日に納入されました。9月から10月にかけて順次消耗品や備品が納入される予定です。

SSHの関連事業として、希望者(24名)による南極観測船「しらせ」の見学とキゴ山での「火星観測」を行います。

9月13日(土) 15:30～22:00

## 19H生徒の熱き意気込み

K君 『SSHに指定され、世界に羽ばたく科学技術系人材の育成を目指すと説明されたときはスケールの大きさに驚きました。理数教科の授業が増え、最先端の研究に触れる機会が多くなることや、学ぶ環境が整っていることはうれしいし、SSHを十分活かし将来につなげたいと思います。』

O君 『SSHを少し経験しての感想はもう少し自由に実験等ができる授業があっても良いと思います。行事では、先日、白山野外実習があり自然の壮大さを実感しました。将来は化学者になり、その自然を守ることに少しでも貢献していきたいです。』

S君 『興味のある数学・理科の授業が多いことはうれしい。行事としては、先日の白山野外実習が楽しかった。たくさんの高山植物や星を見ることができ、クラスのみんなとも仲良くなれました。SSHで考える数学を学び、将来の夢は数学者になることです。』

## 19H担任からひとこと。。。。

4月からSSHが生徒たちにとってプレッシャーになることなく、有意義なものとなるように心がけてきました。最初は身構えていた生徒たちも、白山野外実習や「人間科学」の授業を体験して『SSHもまんざらではないな』と今では楽しんでいるようにも見受けられます。この後も「コスモサイエンス」や「つくばサイエンスツアー」等の活動を通して、科学に興味・関心を示し、多くのことを吸収して行ってほしいなあと思います。この生徒たちの中から世界に羽ばたく科学者が出てくることを夢見て。。。。私も共に頑張ります。

## あとかき

指定されてから、あっという間に半年が過ぎ、何とかもう少しで本契約というところまでたどりつきました。少しずつではありますが、着実にSSH事業は進んでいます。念願だったプリンターも同窓会から寄贈していただき、仕事の能率が格段にアップしました。

後期から始まる授業の準備も進み、少し余裕のでたところ(?)で「SSHだより」を発行してみました。「SSHだより」に関して疑問・質問・記事なんでも結構です。何かありましたらSSH室までご連絡ください。お待ちしております。